

まちの状況や課題を情報共有

アイデア出し合い

町長と町民がまちづくりを一緒に考えた

初開催

タウンミーティング

町内3会場で65人が熱心に意見交換



大塩英男町長が「みんなで取り組むまちづくり」を目指したいと実施しました。会場や曜日、時間帯を考え、萩野、白老、虎杖浜の3地区で開催。3会場合わせ町民65人が参加し、高校生や20代女性の姿もありました。

町立病院のさまざまな課題を共有

町長は初めに、「町立病院」「財政状況」「総合計画」「町民意識調査結果」をテーマに自身の考え方を交え紹介。特に町立病院の改築については、当初予定から建設が遅れた理由や、病院と付帯施設を巡る不適切な対応と再発防止について語り、「病院の問題はまち全体に影響する問題。中身もしっかりとしなくてはならない。私が先頭に立って改革を進めたい」と決意を述べていました。

「皆さんのアイデアをください」

「にぎわいあふれるまちづくり」「自然災害に強いまちづくり」「環境の良い公園づくり」について町の取り組みを紹介した後、「まちに必要なことをみんなで考え、アイデアをください！」とグループに分かれ熱心に討議しました。参加者からは「駅前に人の集まる場所を作ったら」「デマンドはありがたく思っていますが、もっと気軽に出かけられる交通手段がほしい」「運動しやすい環境づくりを」「若者がもっと頑張る」「大きな公園があ



ったら」「よく使う道路の整備が必要」「高齢者をはじめ、働く場をもっと作っていくことが必要」「中高年生と小学生以下の子どもが交流できる場があったら」と、さまざまな意見を出し合い集約しました。参加者からは「もっとこういうざっくばらんに話せる場がほしい」「病院の改革も町長の言葉でちょっと安心しました」「文句はいつでも言えるが提案は難しい」などとタウンミーティングを評価する声が上がっていました。町長は「出された皆さんの声をしっかり受け止め今後に生かしたい」と話していました。タウンミーティングは、直接

意見交換の場として内容を精査しながら今後も続ける方針です。

町民の皆さんに配布した「しらおい応援商品券（4,000円分）」の利用期間は11月30日までです。商品券は払い戻しできませんので、期限内にご利用ください。

※利用店舗は右二次元コード（上：町商工会、下：町HP）を参照

詳細：企画財政課 企画統計グループ ☎82-2714

